



フォレスターうじ 会報

第288号
令和5年2月1日発行
森林ボランティア
フォレスターうじ

ホームページ : <https://forester.foresteruji.org>

一月定例活動

二十五周年記念事業・トーテムポール制作と

記念樹十選の樹名板仮付け

森林公園の実態調査、他

活動日 一月十五日(日)曇

活動場所 天ヶ瀬森林公園

活動時間 九時三十分～十五時三十分

参加者 会員十九名

一日体験者一名 森なかま一名

曇り空ではあったが心配された降雨もなく、寒さもそんなに感じることもなく、活動し易い日となった。

朝の定例行事を行った後、大同会員の安全十カ条唱和、準備体操を行い、活動を開始した。午前は、二十五周年記念事業の記念樹分科会と記念モニメント分科会に分かれての活動となった。

記念樹分科会では、森林公園内で既に候補とした十本の記念樹が植わっている場所を巡り、それぞれの樹木に仮の記念樹名板を付けて記念樹と決定した。それに加え、深田会長が森林公園内を巡り、榎尾山展望台に至る眺望の道への分岐点の道案内板に今はない竹林への道案内が記されていること等、森林公園の実態調査をした。

記念モニメント分科会では、彫刻制作がほぼ出来上がったトーテンポールにペンキによる色付けを行うと共に、トーテンポールを建てるための穴掘りを林副会長と上田会員が行った。

午後は、トーテンポールにペンキによる色付けを引き続き全参加者で行い、完成まであと僅かとなった。分科会の活動以外に、小林副会長を中心に来月予定の椎茸植菌体験会に利用するホダ木収集のため、公園内のクヌギ除伐を行った。また、

昨年仮植えしたヤマザクラ苗木の植樹予定場所周辺の雑木等の伐採を行った。

本日は盛り沢山の活動で、参加者も久し振りの二十名を超え充実した活動であった。そして昼食時には、女性会員が料理してくれた「温かくて具材たっぷりの豚汁」、これは本当に旨かった。ありがとうございました。

活動最後に、宇治上神社での安全祈願で授与された御札を小屋に掲げて、全員で安全を願い拝礼した。(記 水野 民雄)

令和四年度天ヶ瀬森林公園実態調査結果報告

実施日 一月十五日(日)

天候の都合で延期していた実態調査を「記念樹十選」の決定に伴う記念樹名板の仮付け活動に帯同して実施した。調査コースはモミジの道↓眺望の道(榎尾山展望台まで)↓落葉の道↓冒険の道及び閉鎖中のこもれびの道の順で実施した。

今年度も大雨や台風による被害はなく、枯木、枝の張り出しによる歩行困難箇所もなかった。

ただ、落葉の道と冒険の道の交差点で野鳥観察小屋間の坂道については、五月に一部分階段を設置したが、未施工区間は落葉の堆積で滑り易い状態であるため、新年度早々に残り部分の階段設置を計画し実行することを記し、調査報告をする。(記 深田 和夫)



1/15 記念樹十選の樹名板の仮付け作業

一月特別活動

市役所北玄関の「門松」を撤去

活動日 一月六日(金)晴

活動時間 十時十分～十時四十分

活動場所 宇治市役所北玄関

参加者 会員七名

昨年十二月に設置したときは風も強く寒かったが、今日は穏やかな小寒だった。

毎月第三日曜日の二週前の金曜日には会報などの印刷、いつものように印刷、封筒入れの作業を終え、門松の撤去を七名で行った。

宇治市管財課の中田課長から「今年の門松は宇治市のホームページに載りました」とお礼を言われた。市民の皆さんの令和五年が良い年になるように飾りつけたわけだが、段々市民の皆さんに認知されてきているように実感した。

撤去はわずか三十分ほどで終了、来年も利用する資材等は深田会長、新宮実行委員長が目を改めて本会の倉庫に運搬してもらうこととした。(記 木曾 宗統)



1~15. トーテムポールの彩色作業、楽しい



1/8 安全祈願を終えて 宇治上神社

一月特別活動

令和五年安全祈願と新年会

日時 一月八日(日) 晴

安全祈願 十一時三十分～四十五分

新年会 十二時～十四時三十分

場所 安全祈願 宇治上神社

新年会 亀石楼

参加者 各々十六名

一年中で一番寒い「寒中」なのだが、今日は暖かかった。

会員はそれぞれ神社に集合し、新年の挨拶を交わした後、昇殿。神官の祝詞奏上が例年より長く感じたのは筆者だけかな。「フォレスターうじ」の語句が四回も出ていた。深田会長の玉串奉奠に合わせ全員で拍手を打って、今年一年の活動の安全を祈願した。

新年会は三年ぶりの開催だ。亀石楼では二階の宇治川を見渡せる大広間に、椅子席が二列向い合って設置されていた。

深田会長の挨拶、松川参与の乾杯の発声で宴会開始。正月の家庭での御節料理と違ってミニではあるが会席料理を味わい、ビール、日本酒、焼酎と大いに飲み、隣席の人との会話も弾み、新年会のみ参加で久しぶりの会員が皆に冷やかされながらの挨拶もあり、盛り上がった。

宴も半ば過ぎたころ、筆者(幹事)が用意した余興の漢字書き取りをやってもらった。用紙と鉛筆を配り、舞台前の白板に張り紙をして「木への漢字(木の名前以外)を書き出すというものだ。全員が一字ずつ書いて二巡し、後は随時書いて全部で五十字余りとなった。

宴は最後に林・小林両副会長の挨拶で閉会した。皆さん楽しんでいただけたでしょうか。

(記 実行委員長 栗津 國雄)

エッセイ

フォレスターうじの活動に参加して

京都府立大学

森林ボランティアサークル 森なかま

前田 瑠月

昨年の十一月からフォレスターうじさんの二十五周年記念の活動に参加させてもらっている。今回で二回目の参加。広場に設置するトーテムポール。選び抜いた記念樹を十本。などなど。森林に関わる人たちにらしい二十五周年のお祝いだ。

私は二十五年前まだ生まれていないのでどんな日本だったのか想像もつかないが、画面の小さい携帯電話にたまごつちに Window 98 大きく世の中は変わったと思う。同じく森も大きく変わったそう。記念樹にネームプレートをつけるためのチームに同行し散策路を登った。この木はいつ植えたやつだとか、枯れてしまったとか話をたくさん聞かせていただいた。子供が大学生になる。携帯がスマートフォンになる。若木が大木になる。二十五年という時間の厚みを感じた。

今回の活動ではトーテムポール彫りの仕上げを行い、今回は塗装を行った二本あるトーテムポールのうち一本に森なかまの担当箇所があり、先輩がデザインした愛嬌のある強面が彫られている。先代のデザインを生かしつつ私はどのように色をのせるのか。悩みなから塗り進めたがそれも楽しい。午前中、真剣な表情をしてネームプレート付けをしていたみなさんも、トーテムポールを見るとこにこする。

先輩からトーテムポールの作成を引き継ぐように、いつかは私たちの世代がこの森を支えていくのだから。その日が来るまでたくさん学び、経験し木のようになりに大きく成長したい。改めて素敵な二十五周年になりまうように。祝福するかのように赤と青のペンキが舞う。

今後の活動・行事の案内

令和五年三月以降の予定です。ぜひ、ご参加ください。

三月定例活動

三月十九日(日) 天ヶ瀬森林公園

・苗木の植樹

・二十五周年記念事業(トーテムポールと記念樹十選)

三月特別活動

三月五日(日) 太陽が丘

・どんぐりプロジェクト(苗木の植樹)

三月臨時活動

三月二十五日(土) アルプラザ宇治東

・アルプラマルシェに協力(木工体験)

フォレスターうじからのお報せ

フォレスターうじは新しい仲間を募集しています。

入会金 千円 年会費 二千円

活動日 毎月第三日曜日

活動場所 天ヶ瀬森林公園

森林ボランティア フォレスターうじ

事務局

宇治市折居台二丁目一―五

木曾 宗統 方

TEL 〇九〇―九二七〇―〇七六三



編集後記

山の中は寒い、冬だから当たり前、でも家の中で何もすることなしにじっとしているより寒く感じない。むしろ、その肌を刺す寒さが心地いい。そのうえ、空気が澄んで樹々の葉っぱも少なく、見晴らしがいい。皆さん、家を出て森林公園に行こう！

(会報担当 木曾 宗統)

(写真担当 田中 一夫、他)